

ために、研究会での英語（将来、場合によってはマレー語も）での発表の場をもう少し増やせまいか、ということである。これは語学の才のない私が言うのはいかにも奇妙だけれども、マレーシアの研究者から言われてなるほどと思ったので敢えて記す次第である。

最後に、もう辟易している向きもありそうだけれど、私は日本語亡者なので、在任中会員の皆さんの書いた日本語にはずっと目を光らせるつもりでいる。実は私の役割はそんなところにしかないかも知れない。覚悟していただきたい。

### 2006 年度 JAMS 研究大会・予報

日程：2006年12月2日（土）、3日（日）

会場：立教大学新座キャンパス（東武東上線志木駅または JR 武蔵野線新座駅利用）

内容：個別研究発表／大会委員企画／自由企画／会員総会など（予定）

個別研究発表の発表希望者は、1.発表題目、2.要旨（600字程度）を明記のうえ、**E-mail** もしくは郵便で 8月31日までに大会委員までご応募ください。

大会委員企画の他に、会員のみなさまからの自由企画（パネル発表、ラウンドテーブル、書評セッションなど）のご希望があれば、大会委員までお寄せください。自由企画をご希望の方は、1.企画の題目、2.趣旨（600字程度）、3.発表・コメントなどの予定者名を明記のうえ、**E-mail** もしくは郵便で 8月31日までに大会委員までご応募ください。応募企画につきましては、大会委員・開催校・運営委員会で検討のうえ、9月下旬（予定）までに採否をお知らせします。

大会委員：舛谷 鋭 (MASUTANI, Satoshi)

立教大学 観光学部 交流文化学科